

2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月2日

上場会社名 日東工器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6151 URL <https://www.nitto-kohki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 明誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 管理統轄 (氏名) 森 憲司 TEL 03-3755-1111
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,068	5.7	983	10.1	1,037	5.3	659	0.2
2023年3月期第1四半期	6,685	12.6	892	20.0	985	27.7	657	20.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,050百万円 (8.2%) 2023年3月期第1四半期 1,143百万円 (43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	33.13	
2023年3月期第1四半期	32.40	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	66,051	57,810	87.5	2,924.67
2023年3月期	66,835	57,971	86.7	2,886.57

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 57,801百万円 2023年3月期 57,961百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		24.00		29.00	53.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		28.00		34.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,915	6.6	1,915	7.5	1,978	2.9	1,340	3.6	66.73
通期	30,380	8.1	4,120	12.4	4,230	10.8	2,950	12.4	146.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	21,803,295 株	2023年3月期	21,803,295 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	2,039,996 株	2023年3月期	1,723,596 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	19,888,144 株	2023年3月期1Q	20,288,899 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧米経済の物価高や金融引き締めの影響を受けて緩やかに減速しています。日本経済は、経済活動の正常化や賃上げ、財政・金融政策を背景に内需を中心にコロナ禍から緩やかに持ち直しつつある一方で、円安や原材料価格高騰の影響を色濃く受けております。

このような経営環境の中で、当社グループは、当第1四半期連結累計期間における売上高は70億68百万円となり、前第1四半期連結累計期間66億85百万円と比較すると、5.7%の増収となりました。利益面では、営業利益は9億83百万円となり、同8億92百万円と比較すると10.1%の増益、経常利益は10億37百万円となり、同9億85百万円と比較すると5.3%の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億59百万円となり、同6億57百万円と比較すると0.2%の増益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、半導体向け製品が半導体業界の生産調整の影響を受け、売上高は30億65百万円（前第1四半期連結累計期間比0.1%の減収）となりました。利益面では、営業利益8億9百万円（同6.9%の増益）となりました。

機械工具事業は、対面営業を再開できたことで国内外の売上げが回復基調にあり、売上高は23億41百万円（同17.8%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益1億76百万円（同61.8%の増益）となりました。

リア駆動ポンプ事業は、昨年の値上げ前の駆け込み受注の影響により、国内外とも需要の減少、売上高は10億81百万円（同1.9%の減収）となりました。利益面では、減収及び原価率の増加、為替の影響により、営業損失14百万円（前第1四半期連結累計期間は36百万円の営業利益）となりました。

建築機器事業は、大都市圏での大型物件の納入により、売上高は5億79百万円（同9.9%の増収）となりました。利益面では、増収により、営業利益11百万円（前第1四半期連結累計期間は10百万円の営業損失）となりました。

海外売上高は、24億96百万円（前第1四半期連結累計期間比11.1%の増収）となり、海外売上高の連結売上高に占める割合は35.3%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、660億51百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億83百万円の減少となりました。

資産の部では、流動資産は473億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して15億81百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少18億91百万円、受取手形及び売掛金の増加1億61百万円、商品及び製品の増加1億54百万円等によるものであります。

固定資産は、186億99百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億97百万円の増加となりました。これは主に土地の増加4億93百万円、投資有価証券の増加2億99百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は37億82百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億21百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金の減少2億73百万円、買掛金の減少2億1百万円、未払法人税等の減少1億82百万円等によるものであります。

固定負債は、44億58百万円となり、前連結会計年度末と比較して1百万円の減少となりました。これは主にリース債務の減少25百万円、退職給付に係る負債の増加11百万円、役員退職慰労引当金の増加10百万円等によるものであります。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益は、6億59百万円でしたが、配当金の支払い5億82百万円があったため、利益剰余金は、76百万円の増加で559億99百万円となりました。また、自己株式の増加6億27百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億17百万円、為替換算調整勘定の増加1億49百万円等があったため純資産の部は、578億10百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億60百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました「2023年3月期決算短信」から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,925	25,034
受取手形及び売掛金	4,139	4,301
電子記録債権	3,096	3,039
有価証券	4,899	4,899
商品及び製品	5,405	5,560
仕掛品	375	511
原材料及び貯蔵品	3,371	3,509
その他	721	498
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	48,933	47,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,403	11,427
減価償却累計額	△6,781	△6,859
建物及び構築物(純額)	4,622	4,568
機械装置及び運搬具	4,657	4,689
減価償却累計額	△3,645	△3,731
機械装置及び運搬具(純額)	1,012	957
工具、器具及び備品	7,568	7,637
減価償却累計額	△7,000	△7,067
工具、器具及び備品(純額)	567	569
土地	3,331	3,825
リース資産	2,759	2,760
減価償却累計額	△1,166	△1,182
リース資産(純額)	1,592	1,577
建設仮勘定	351	502
有形固定資産合計	11,477	12,000
無形固定資産		
その他	1,694	1,724
無形固定資産合計	1,694	1,724
投資その他の資産		
投資有価証券	3,235	3,534
長期貸付金	26	24
繰延税金資産	1,175	1,118
その他	307	312
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	4,729	4,974
固定資産合計	17,901	18,699
資産合計	66,835	66,051

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,348	1,147
リース債務	272	273
未払法人税等	621	439
賞与引当金	586	313
役員賞与引当金	46	11
その他	1,527	1,598
流動負債合計	4,403	3,782
固定負債		
リース債務	1,483	1,457
退職給付に係る負債	2,433	2,445
役員退職慰労引当金	151	162
資産除去債務	30	30
その他	361	363
固定負債合計	4,460	4,458
負債合計	8,863	8,240
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,924	1,924
利益剰余金	55,922	55,999
自己株式	△3,264	△3,892
株主資本合計	56,432	55,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879	1,096
繰延ヘッジ損益	△7	6
為替換算調整勘定	783	933
退職給付に係る調整累計額	△126	△116
その他の包括利益累計額合計	1,529	1,920
非支配株主持分	9	9
純資産合計	57,971	57,810
負債純資産合計	66,835	66,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	6,685	7,068
売上原価	3,525	3,722
売上総利益	3,159	3,346
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	617	642
賞与引当金繰入額	158	166
退職給付費用	49	51
役員退職慰労引当金繰入額	8	10
販売促進費	41	50
研究開発費	260	267
その他	1,131	1,175
販売費及び一般管理費合計	2,266	2,362
営業利益	892	983
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	38	38
為替差益	31	17
受取家賃	11	10
その他	17	14
営業外収益合計	102	90
営業外費用		
支払利息	8	9
自己株式取得費用	-	24
その他	1	3
営業外費用合計	10	36
経常利益	985	1,037
税金等調整前四半期純利益	985	1,037
法人税等	327	378
四半期純利益	657	659
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	657	659

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	657	659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	217
繰延ヘッジ損益	-	13
為替換算調整勘定	460	149
退職給付に係る調整額	8	10
その他の包括利益合計	485	390
四半期包括利益	1,143	1,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,142	1,049
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2023年2月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式316,400株の取得を実行しました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が627百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,892百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,068	1,986	1,102	527	6,685
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,068	1,986	1,102	527	6,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,068	1,986	1,102	527	6,685
セグメント利益又は損失(△)	757	109	36	△10	892

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	迅速流体継手	機械工具	リニア駆動ポンプ	建築機器	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,065	2,341	1,081	579	7,068
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,065	2,341	1,081	579	7,068
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,065	2,341	1,081	579	7,068
セグメント利益又は損失(△)	809	176	△14	11	983

セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。